

養小出温泉道路改修は、清津峡観光開発のため是非実現しなければならぬので、県道編入を促進する。宮中橋新設については、昭和三十七年に宮中線を県の新設構想計画に編入し、その後の交渉によつて四十一年度着工の確約がされてあるので、今後貧野地区住民の格段の協力を得てこの新設構想計画を進めていきたいと思つてゐる。このほか、釜川橋は村の強い要望によつて四十年度竣工の予定で、予算折衝を県も国へ向つてゐるので、実現出来るものと信じてゐる。幸川雪中路道（今年が四十二年竣工の予定）、県道小原通り山方面改良工事についても促進する。清津川右岸段丘地パイロット事業は水利問題など二部未解決のため手間とつてゐるが、全国三十カ所の計画に入つており、国も有望とみてゐるので、県の協力を得て一体となり今年着工にこぎつきたい。清津川総合開発は多年の懸案であるが、多目的ダムの構想もあり具体化について努力したい所存である。

以上施政の方針を申し上げたが、施策の実行にあつては、村民各位の一層のご協力をたまはります。

